

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

2023- Vストローム250 SX [8BK-EL11L]

POWER BOX FULL

取付説明書



<取付所要時間の目安>
40分

< 商品内容 >

① エキゾーストパイプ x1	③ 平ワッシャー x2
② サイレンサーボディ x1	④ フランジナット x1

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。

※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行って下さい。

※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。

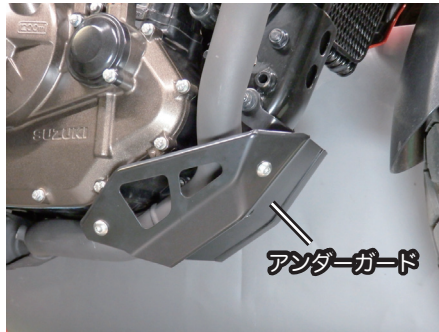
※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける事を推奨しています。

※ 作業時のキズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

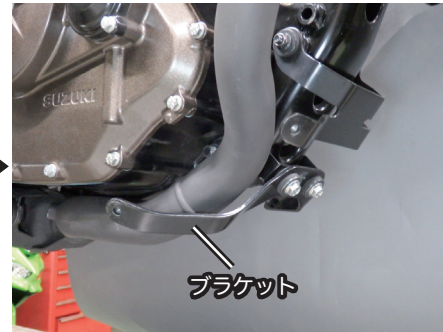


マフラー交換作業中に O2 センサーを取り外した状態でメインスイッチを ON にしますとセンサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。必ず O2 センサーの固定を確認してからエンジンを始動する様にして下さい。万一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による点検、解除が必要です。車輛ご購入先のバイクショップに相談して下さい。

1 純正マフラー を取り外します。



エンジン下のアンダーガードを取り外します。(4点止めで固定されています。)

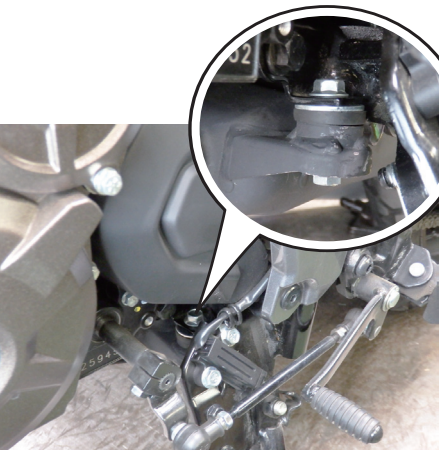


アンダーガード固定用のブラケットも一旦取り外します。(2点止めで固定されています。)

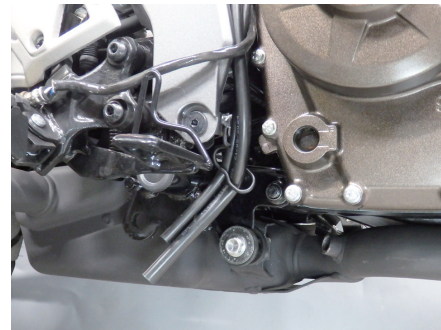


O2センサーのカプラーを抜いて配線を自由にしてから作業する事をおすすめします。

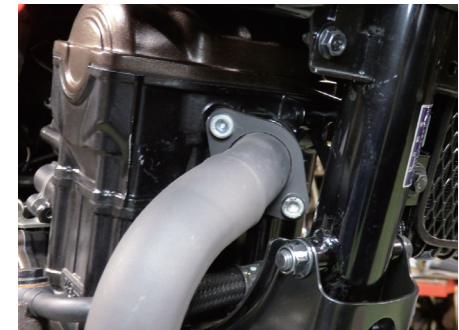
O2センサーを取り外します。配線がねじれて無理な力がかかる事で断線しない様に注意して下さい。O2センサーはあとでPOWERBOXマフラーに再び取り付けます。



マフラー中間部(左側)をフレームに固定しているボルト / ナットを緩めて抜き取ります。この固定箇所はPOWERBOXマフラーでは使用しません。



マフラー中間部(右側)をフレームに固定しているボルトを緩めて抜き取ります。(ボルト / ワッシャーはあとで再使用)

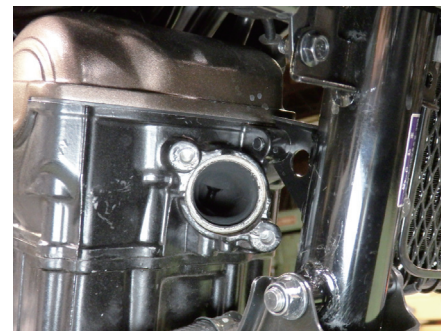


フランジをエンジンに固定しているキャップボルト2本を緩めて抜き取ります。(キャップボルトはあとで再使用)

各部固定箇所を取り外している最中に自重でマフラーが落下するのを避ける為にマフラー下にジャッキを置いて受け止める様にしておくとより安全に作業ができます。



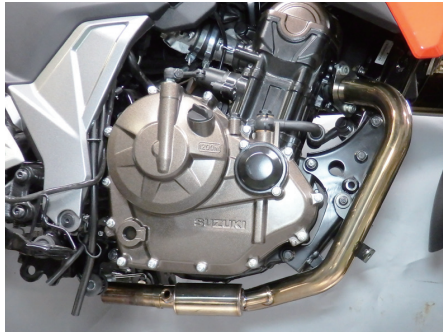
サイレンサーを固定しているボルトナットを緩めて抜き取りながら純正マフラー一式を車体からゆっくりと取り外します。(ボルト / ワッシャー / ナットはあとで再使用)



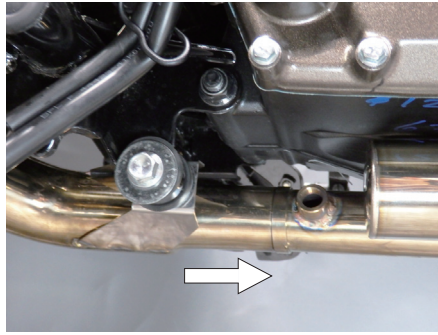
エキゾースト・ガスケットを新品に交換しておきます。(車種専用サイズのを別途ご購入ください。)

●エキゾースト・ガスケット
SUZUKI 純正品番:14181-14D10

2 POWERBOXマフラーを組み付けます。



POWERBOXマフラーのエキゾーストパイプを先にエンジンに仮組みします。フランジの固定には純正のキャップボルトを再使用します。



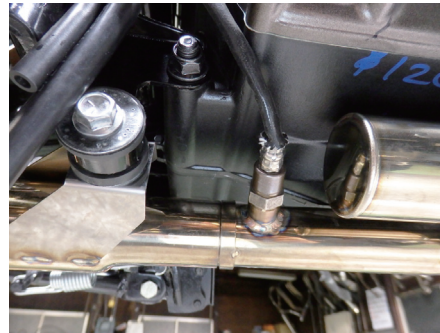
サイレンサーボディをエキゾーストパイプに(ストッパーに突き当たる所まで)挿入し、マフラー中間部の固定箇所を仮止めします。純正のボルトとワッシャを再使用しながら付属の平ワッシャ / フランジナットを内側に追加して固定します。接合部分からの水滴垂れや排気漏れを防ぐ為にも接合部にあらかじめ液体ガスケットを塗布して組み付ける事をおすすめします。



マフラー交換作業中にO2センサーを取り外した状態でメインスイッチをONにしますとセンサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。必ずO2センサーの固定を確認してからエンジンを始動する様にして下さい。万が一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による点検、解除が必要です。車輛ご購入先のバイクショップに相談して下さい。



サイレンサー上部を仮止めします。純正のボルト / ワッシャ / ナットを再使用しながら付属の平ワッシャをナットの座面に追加して固定します。



O2センサーをしっかりと本締め固定します。取り外していた配線のカプラーもしっかりと結合し、配線が無理な力がかからない位置に収めます。



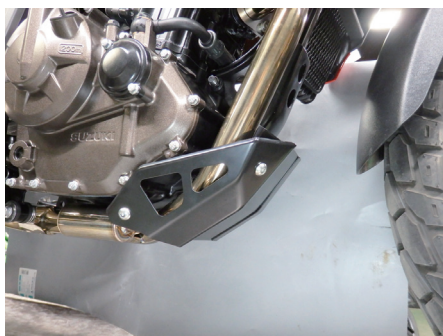
車体各部との隙間を確認します。特に転倒歴のある車軸やサスペンションを交換している車輛などはスイングアームとの隙間をよく確認して下さい。

3 各部の隙間や取付状態を確認し、仮組みしていた箇所全てを本締めします。

本締めを終えたらパイプに付着した汚れや油分をパーツクリーナーなどの脱脂剤でしっかりと拭き取って下さい。汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

4 エンジンを始動し、各接合部から排気漏れの無い事を確認します。

5 アンダーガードを元に戻して作業終了です。



アンダーガードとPOWERBOXマフラーが干渉していない事を確認して下さい。

- ※ 安全にご使用いただく為にも取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、臭いや排気出口から白煙が発生する場合がありますが、徐々に収まっていきます。
- ※ 本製品は構造上使用状況によってアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ 製品によっては、サイレンサーやマフラー本体に小さな穴を開けている事があります。これは水抜き用に設けられた穴ですので、特に問題はございません。
- ※ しばらくお使いいただく内にマフラー接合部から排気漏れや水滴がたれてくる事があります。この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりません、著しく排気漏れが発生している場合には再度接合部に液体ガスケットを塗って組み直す事をおすすめします。
- ※ マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。使用距離：10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材(=グラス・ウール)の交換をお勧め致します。(詳細は弊社までお問い合わせ下さい。)
- ※ 日頃のお手入れはたっぷりの水で洗車、またはパーツクリーナーで。汚れのひどい時には泡状に吹き付けたマジックリンを使用して拭き上げ、パーツクリーナーで仕上げして下さい。
- ※ 本製品で使用しておりますステンレスはその特性上、熱によって表面に焼け色が付いてきますがこの現象は異常ではございません。また、弊社より発売中のケミカル『ホロクリンジェル SP』をお使いいただけますと非常に効果的に焼け色を落とす事ができます。

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。